

平成 29 年度第 1 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 29 年 5 月 25 日（木） 午後 1 時 45 分から

2. 場 所 熊野市役所 2 階 第 1 会議室

3. 出席者 熊野市長 河上敢二
熊野市教育委員会
倉本教育長 大久保委員、糸川委員、北野委員

4. 事務局関係

教育委員会事務局

岡本総務課長、楠学校教育課長、杉本社会教育課長

太田総務課長補佐、小瀬総務課庶務係長

市長公室

大西市長公室長

総務課

仲森総務課長

5. 事 項

(1) について

岡本総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 29 年度第 1 回熊野市総合教育会議を開催いたします。お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会総務課長の岡本でございます。よろしくお願いいたします。

最初に、総合教育会議 開催にあたりまして、河上市長からご挨拶をお願いいたします。

河上市長 本日は、平成 29 年度第 1 回目の総合教育会議でございますが、教育委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当市の教育行政の推進に対し、格別なご尽力をいただいておりますことに、心から深く感謝申し上げます。

昨年度は、熊野市教育大綱に基づき重点 6 項目を始め、さまざまな事業に取り組んで参りました。平成 28 年度の成果といたしましては、重点項目 6 項目の内、指標を達成したものが、3 項目。達成できなかったものが 3 項目となっております。この指標でございますが、あくまで、めざす姿に向けての目安としておりまして、達成できなかったからといって、取組が不十分であったということでは必ずし

もございません。ただし、課題については、しっかりと整理をして、平成 29 年度への取組に繋げて行く必要があると考えております。

平成 29 年度につきましては、昨年度に引き続き、同じ重点施策 6 項目を示させていただいております。学力向上の推進を始め、生涯スポーツの普及と促進までの 6 項目でございますが、どのような環境におきましても、生涯学び続けることができる機会を提供することによって、子どもたち自身の夢が実現できるよう、また、生きる力をしっかりと持てるようにしていくこと、そして、市民の皆様の活力や期待に繋げて行くことができるよう考えております。

学びの環境とともに、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのため、「こどもは宝・未来への希望基金」によるさまざまな子育て支援事業も継続して行って参ります。さらに生涯スポーツの分野につきましては、平成 30 年度には、全国高等学校総合体育大会、そして、平成 33 年度には、国民体育大会が開催され、当市でもソフトボールを中心とした種目が行われる予定でございます。市全体で気運を高めて行く必要があると思っております。

昨年度の課題も踏まえ、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただき、昨年度よりさらに一歩進んだ取組を実現して行きたいと思っておりますので、なお、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

岡本総務課長

ありがとうございました。本日は、高見委員より欠席のご連絡をいただいております。

それでは、お手元に配布の資料の確認をさせていただきます。資料は 3 種類です。本日の事項書、平成 29 年度第 1 回熊野市総合教育会議と記載しているもの。資料と記載しているものです。よろしいでしょうか。

それでは、事項書 2 の (1) 平成 28 年度主な重点施策の成果と課題について、に移らせていただきます。

熊野市教育大綱は、平成 27 年 5 月 28 日に開催しました、平成 27 年度第 2 回熊野市総合教育会議において、策定されました。6 つの大きな施策からなっており、1 つ目は、学校教育（幼稚園教育）で施策の内容は、教育内容の充実のほか 2 項目。2 つ目は、学校教育（義務教育）で、学力向上の推進のほか 7 項目。3 つ目は、青少年健全育成で、子どもの見守りと問題行動への対応 のほか 2 項目。4 つ目は、生涯学習で、多様な生涯学習機会の提供 のほか 2 項目。5 つ目は、生涯スポーツで、生涯スポーツの普及と促進のほか 2 項目。6 つ目は、文化芸術で、文化や芸術に触れる機会の提供のほか 3 項目からなっております。

平成 28 年度は、今、申しあげました 24 項目のうち、主な重点施策として、2 ページから 4 ページにあります。学校教育（義務教育）から重点施策 1 学力向上の推進、2 豊かな心の育成、3 安全で安心な学校環境づくり。青少年健全育成から、4 子どもの読書活動の推進。生涯学習から、5 生涯学習環境の整備。生涯スポーツから、6 生涯スポーツの普及と促進の 6 点をあげ、取り組んで参りました。

これらの重点施策の成果と課題につきまして、順を追って説明させていただきます。まず、学校教育関係の重点施策 1 から 3 までをご説明いたします。重点施策 1「学力向上の推進について」ですが、指標につきまして、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」とありますが、平成 28 年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙において、授業の中で目標が示されている（めあて）、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っているか（振り返り）、どうかについて「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合が、全国平均を上回ります、としておりまして、結果、小中学校において、全ての項目で全国平均を上回り、指標は達成をしております。回答結果は、資料の 3 ページから 4 ページに記載しております。

しかし、小中学校ともに割合が 100%ではないため、引き続き「めあて・振り返り」が定着するよう、取り組みを続けていく必要があります。以上が、重点施策 1「学力向上の推進について」の説明でございます。

続きまして、重点施策 2「豊かな心の育成」に移らせていただきます。指標につきまして、いじめ件数 0 件に対し、19 件ということで達成できませんでした。この件数は、小さな対人関係のトラブルやごく短期間で解消したものも積極的にいじめと認知したものであり、早期対応により解消を図っております。今後も児童生徒及び教職員の意識をさらに高め、関係機関と連携しながら、チーム学校として未然防止、早期発見、早期対応に努める必要があります。以上が、重点施策 2「豊かな心の育成」の説明でございます。

続きまして、3 ページの重点施策 3「安全で安心な学校環境づくり」に移らせていただきます。指標としまして、全小中学校で、学校と地域等が連携した合同防災会議・避難所運営訓練等を実施するとありましたが、16 校中 13 校の実施であり、達成できておりません。実施した学校・地域では、防災への関心が高まるとともに、連携が深まりました。29 年度は全ての学校で実施するよう、進める必要がございます。以上が、重点施策 3「安全で安心な学校環境づくり」の説明でございます。

これまで、学校教育関係の重点施策3点をご説明申し上げました。ご質問やご意見等ございましたら、よろしくお願いたします。

河上市長
倉本教育長

学力調査の熊野市全体の結果は公表しているのですか。
熊野市の学力学習状況調査の結果は、市の教育委員会のホームページに全国・県・熊野市と並べて公表していますし、新聞紙上にも提供しています。また、体力テストの結果もホームページや新聞紙上で公表しています。

河上市長

学力向上の推進のめざす姿、指標としてここに書いてあること自体に否定はしませんが、結果だけではなくて、どういう取組をしているかについての子どもたちの評価も大切だと思います。

倉本教育長

教育委員には、その資料は渡されているのですか。
はい、教育委員と市議会の議長や副議長、産業教育常任委員長にお渡ししています。

河上市長

平成29年度の目標をどうするかという時に、どういう取組をしているかについての子どもたちの評価を置くのが良いのか今の方法が良いのか、あとで意見をいただきたいと思います。学力学習状況調査の結果だけを目標にするのは好ましくないと思われます。

岡本総務課長

ありがとうございます。他に何かございませんでしょうか。ないようでしたら、次に、社会教育関係の重点施策4から6までをご説明いたします。

重点施策4「子どもの読書活動の推進について」ですが、指標としまして、子どもの図書貸出利用者数が延べ9,000人以上に対し、9,816人となっており、目標を達成することができました。

しかし、延べ利用者数は、増加しているものの、自ら進んで読書に親しむ状況がどの程度の割合で浸透しているのか不透明な状況にあり、29年度はこのことを反映した指標に変えることといたします。以上が、重点施策4「子どもの読書活動の推進について」の説明でございます。

次に、重点施策5「生涯学習環境の整備」に移らせていただきます。指標としまして、熊野市立図書館の企画事業等の評価が5点満点中4.0以上に対し、4.84であり目標を達成することができました。

今後は、図書館の企画事業だけではなく、生涯学習事業全般にわたり、ニーズ把握のためのアンケート結果を分析するとともに、効果的な広報についても検討する必要があります。以上が、重点施策5「生涯学習環境の整備」の説明でございます。

最後になりますが、4ページの重点施策6「生涯スポーツの普及と促進」でございます。指標としまして、まちづくりアンケートにおいて、週1回以上スポーツを楽しんでいる割合が10%以上に対し、

結果は、9.0%ということで達成できませんでした。

今後、市民の健康意識の向上に合わせ、スポーツ推進委員協議会や総合型地域スポーツクラブにおいて多様なメニューを取り入れることや、体育協会及びスポーツ少年団の組織強化も課題となっております。また、多くの市民の皆さんにご参加いただき、高校総体、国体の開催に向けた諸準備を進める必要があります。以上が、重点施策6「生涯スポーツの普及と促進」の説明でございます。以上が、重点施策3点をご説明申し上げました。ご質問やご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

河上市長 子どもの図書貸出利用者数の延べ9,000人はどのような数字なのですか。貸出冊数も利用者数も月単位で出ているじゃないですか。その中で子どもの数だけを月単位で調べて合計したものだと延べだとわかるのですが。

杉本社会教育課長 そういうことです。月単位で集計したものを合計した人数となっております。

河上市長 来年度は是非、Aさん・Bさん・Cさんでカウントしてもらうように。そうすると、一人当たり何冊借りているかわかるし、動きも明確になるので、そこは工夫をしていただきたいと思います。

岡本総務課長 他にご質問等ございませんでしょうか。それでは、平成29年度の主な重点施策に入らせていただきます。5ページをご覧ください。

平成29年度の重点施策は、どの施策についても平成28年度からの継続性を重視し、平成28年度の課題等も反映したものとなっております。それぞれの取組の方向性や事業名・事業内容等の説明をさせていただきます、その後、今後のめざす姿や指標についての説明をさせていただきます。1つの重点施策の説明が終わるたびに、ご質問やご意見等をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

最初に、6ページの重点施策1「学力向上の推進」について、でございます。資料は、1ページから4ページです。取組の方向性として、指導主事等の派遣により、各学校における校内研修会や授業研究をより充実させ、質の向上を図っていくことにより、授業の改善を進めます、としております。

主な取組内容としては、平成28年度と同様、学力向上支援事業、学力向上推進研修事業、学力向上特別支援事業、地域未来塾事業、グローバル体験事業と5つの事業を行うこととしております。地域未来塾事業及びグローバル体験事業につきましては、より多くの児童生徒の参加が得られるよう、参加呼びかけの強化にも取り組んで参ります。

めざす姿につきましては、恒常的に授業改善に取り組み、それぞれの力量を高め合おうとする職員組織、目標を持って授業に臨み、深い学びと自己の変容を実感している児童生徒であり、指標につきましては、全国学力・学習状況調査質問紙の「めあての提示」と「振り返りの実施」の項目について、肯定的な回答をした児童生徒の割合が、前年度比プラス1%以上と設定させていただきました。前年度の実績は、資料の3ページから4ページに記載しております。以上が、重点施策1「学力向上の推進」の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

河上市長

主な取組内容で、昨年と違うところはありますか。

楠学校教育課長

基本的に昨年と同じです。

倉本教育長

学力向上の推進の指標につきましては、めあての提示と振り返りの実施ということにしております。これは、昨年度の全国学力学習状況調査の結果が小学校で実施教科の平均が全国平均を上回ったということがあります。中学校でも全国平均に迫りつつあります。めあての提示と振り返りの実施を徹底したことによる結果だと思っております。これをしっかりやっている学校につきましては、非常に学力が伸びています。それは顕著な結果で出ておまして、今年度の文部科学省の結果を公表するのが夏から秋ですが、すでに各学校では自校採点をやっています。めあて振り返りを徹底的にやっている学校につきましては、昨年度全国平均から10ポイント下回っていたもので、全国平均または全国平均より上を目標にしました。母数が少ないのでどこまで信頼できる数字かということは別にして、そういう結果が表れております。

岡本総務課長

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

大久保委員

直接今年度の事業に関係ないことなのですが、学習指導要領が改訂されて、英語教育も本格的にやらなくてはならないということですが、先日のニュースで、大学の入試制度が、今の中学校3年生から変わるということです。例題を見ていると、かなりの読解力や思考力を付けていかないと、とても太刀打ちできないような問題になっています。そういう意味で、今年云々ではなく、今言わせていただいたことに対して準備をしていかないと、その時になって間に合わないと思いますので、教職員の育成も含めて教育委員会で考えていただきたいと思います。

河上市長

英語教員の小学校や中学校における増員の話は、県で検討されているのですか。

倉本教育長

小学校における英語について、英語力がある教諭につきましては、今年度の教員採用試験から小学校教員試験の受験者で、中学校の英

語の免許を持っている者の枠を設けています。県としてもそのような方向であると伺っています。

ALT につきましては、幼稚園や小学校、中学校に派遣していますが、週の時間割の中で、英語が教科化になると入りきらないということが起こってきます。文部科学省が示しているのは、毎日 10 分ずつやって、合わせて 45 分。これで 1 単位時間。週の時間割がいっぱいになっている状況の中にねじ込むということになりますので、少し慎重にならないといけません。

河上市長

今の教育長が言われた話だと、小学校の先生がやらざるを得ませんよね。毎日短時間、ALT がその分張り付かないといけなくなりますよね。

倉本教育長

ALT はあくまでも、外国語指導助手ですので、主になるのは小学校では担任であり、中学校では英語科の教諭ということになります。ですので、そこを間違えて ALT に全て渡すことは、授業の 1 単位として成立しないことになります。

河上市長

ALT はアシスタントなのですね。

倉本教育長

そうです。

岡本総務課長

その他何かございませんでしょうか。なければ次に移らせていただきます。7 ページの重点施策 2 「豊かな心の育成」に移らせていただきます。資料の 5 ページも合わせてご覧ください。

取組の方向性として、いじめに関しては、未然防止、早期発見、早期対応が可能となるよう、学校教育相談体制の充実に向け、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーや関係機関等との連携を図るとともに、児童生徒の心の問題についてきめ細やかな対応を行います。

郷土教育の充実に関しましては、熊野市の歴史や文化財等の地域学習を推進し、ふるさとを愛し、誇りを持つことのできる心を育成します。

具体的な取り組み内容としては、いじめ防止基本方針の見直し、いじめ対策事業、郷土教育の充実、と 3 つの事業を行うこととしております。

いじめ対策事業につきましては、小学 3 年生以上の全児童、全中学生を対象に、学級満足度調査及び結果を踏まえた研修会の実施、定期的ないじめアンケートの実施、さらに熊野市子どものいじめの防止等に関する条例が施行されたことに伴い、熊野市いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関・団体とともに効果的な啓発や対策について協議いたします。

郷土教育の充実につきましては、小学校社会科副読本「わたした

ちの熊野市」を活用するとともに、地域で活躍している方を招き、地域学習の充実に取り組みます。また、「学校における囲碁教室事業」を行い、日本唯一の黒碁石の産地でもある、ふるさと熊野市を愛する心を育てます。

めざす姿につきましては、いじめを決して許さない児童生徒、ふるさと熊野市を愛し、誇りが持てる児童生徒であり、指標につきましては、小中学校におけるいじめ認知件数をゼロと設定させていただきました。以上が、重点施策 2 豊かな心の育成の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

北野委員

いじめ対策についてなんですが、28年度は19件ということで、現場の先生方にもたいへん頑張っていたと思います。19件については、いじめを見つけていただいたということだと思っておりますが、指標が0件となっておりますが、あまり認知件数を押し出すよりも逆に19件いじめを見つけてもらっていますので、これからも先生方がしっかりと児童・生徒を見ていただいて、0件にこだわらないようにと現場の先生方によろしくお願ひしたいと思ひます。

楠学校教育課長

委員のおっしゃる通りなのですが、これはいじめのない学校ということで、めざす姿となっております。いじめ0件は実現が難しいことで、前年度の課題にも書かせていただきましたが、短期の場合や小さな場合でもいじめの認知ということで、報告してもらうように考えています。1年間を通して、いじめ0件は難しいという認識を各学校でも教育委員会事務局においても持っております。少しでも教員それぞれがアンテナを高くして、子どもたちの行動を見て認知した事案をあげてもらふこととなっております。ただ見えない部分はどうしてもあります。それを、学校満足度調査の客観的なデータや学期ごとに行う定期的なアンケートで把握して行くことで有効的なものと認識しています。

また、いじめは絶対ゆるさないという児童・生徒の姿をめざして取り組んで行きたいと考えております。

岡本総務課長
糸川委員

関連して、何かございませぬか。

ささいなことかも知れませぬが、いじめがあつて解決しても、いじめを受けた側の子どもの心の傷は、なかなか癒えない子もいると思ひます。新たないじめはないとしても、1回の心の傷を先生方や児童、生徒で見守つて、少しでも心の傷が癒えるように環境づくりをしていただきたいと思ひます。

あと、スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーはどのように違ふのですか。

楠学校教育課長

スクールカウンセラーは、臨床心理士です。学校に相談室があり

まして、心の部分のカウンセリングをしています。全校に毎日ではないですが、配置しております。スクールソーシャルワーカーは、福祉的なスキルを持ち合わせた方です。その中には、ソーシャルワーカーと臨床心理士もいます。つまり、カウンセリングもできます。福祉的な事案であれば、福祉や児童相談所と連携して動きます。

スクールソーシャルワーカーも県から週 1 回熊野市に配置していただき、ケースにあたっていただいております。

糸川委員 スクールカウンセラーの方が、子どもから相談を受けた場合、守秘義務がありますよね。受けた相談をスクールカウンセラーの方はどのように対応されるのですか。

楠学校教育課長 子どもから相談を受けた時は、1 対 1 ですが、もちろん学校と連携してもらい、情報共有もしています。

倉本教育長 先ほど、学校教育課長が申したスクールカウンセラーはカウンセリングをしていただいておりますが、子どもや保護者と話し合ったことを学校の職員に伝えて解決策について、協議を行います。スクールソーシャルワーカーは、具体的な事案について、福祉や警察などに繋いで具体的な解決策を担う役割を持っております。両方とも目的外使用にあたらぬという部分で、情報の共有をして解決に向かっていくということです。

河上市長 19 件のいじめがあったということで、子どもの立場から見れば、短期間に 1 人の子どもが 1 人をいじめたという話もあるし、長期に渡って複数人を執拗にいじめた話もあります。これは、客観的にはレベルが違います。先ほど、糸川委員は言われたように、子どもから見ると、1 回でもいじめを受けたら、メンタルヘルスの問題がずっと生じるかもしれません。客観的に見て、やむを得ない措置として、いじめの程度というものがあるはずですよ。19 件の内容が分からないと単純に件数で判断できないと思います。

もう一つは、北野委員が言われたことに関連するのですが、私も新聞やマスコミ報道でしか分からないのですが、要は、子どもがいじめられているということを間接的に遠回しに訴えることを先生はそれに気が付かない。知らない間にいじめは深刻化する。19 件について、どういう風に見つけたかという検証と、どういう風に対応したかという話も必要かと思えます。今後いじめ対策をこの場で深く突き詰めて行くというか、現場の情報も提供していただいた方が話はより良くできると思います。

19 件を仕分けした場合、どのような状況なのですか。

楠学校教育課長 学校の方からケースの内容も含めて報告があります。解決したという報告もあります。ただ、学校が判断して、まだ見守り中の事案

は、2 か月 3 か月継続というケースもあります。

倉本教育長

この件数につきましては、あくまでも被害の受けた子、例えば同じことをされても深く傷つく子、跳ね返すことができる子など様々です。捉え方として、例えば、被害を受けた子が担任に言えない場合には、保護者を通じて言われる場合がございます。あとは、担任からのいじめというものもあります。そういうものは、学期に 1 回いじめの内容を含むアンケートを行います。その中からできるだけ、認知するよう努めております。子どもたちの状況を今までは担任 1 人が見ていましたが、現在は、複数の視点で捉えて行くという考えになって来ています。

大久保委員

いじめの件数に関してではないのですが、いじめをなくすというのは本来、相手をしっかり理解することだと思います。今話題になっているのは、発達障害の子どもたちですね。この前もテレビでやっていましたが、15 人に 1 人ぐらいいるということです。熊野市でいえば小・中学生約 1,000 人で 50 人から 60 人いるということになります。発達障害を持った子どもについては、判別することがなかなか難しいです。そのことによって、いじめられるケースがあります。子どもたちからいじめられるというだけでなく、先生からもいじめられるというか、先生が分からない訳ですよ。なので、そういうことについて先生方の理解も非常に大事だと思います。この前のテレビで、長野県はこういう場合はこのように対処して行くという教師向けの指導書を作成したということをしていました。

我々が見る世界と発達障害の子どもが見る世界は見えるものも違いますし、臭いについても全く違う感覚なんですよ。私の身近にもそういう子どもがいたのですが、私たちが感じない臭いに敏感で、好き嫌いも一般的でないしで、そういうことへの理解が教師自体も難しいかと思っておりますので、先生方の勉強もしていただく機会があれば良いかと思っております。

楠学校教育課長

現在すでに、先生方に研修を受けていただいております。校内研修でも県でも発達障害の子どもについて、どう捉えて行くのかということは、研修等で進んでいると思います。

倉本教育長

今、教育現場で各クラスを管理職が毎日回っています。あと TT(ティーム・ティーチング)ということで、複数の教員が入って指導する場合があります。ですので、今まで以上に複数の目から子どもたちを見ることが出来ます。さらに、専門家に入っていただくことがあります。専門家の視点で捉えていただくことや具体的な発達検査になりますと市の発達支援室と連携して、ケース会議を頻繁に開きます。

10年前、5年前に比べて、教育現場において、関係機関の支援を得ながら発達障害に対応する力がついてきつつあります。保護者の方も特別支援教育や特別支援学級について、理解が深まりつつありますので、さらに進めて行かなくてはならないと考えております。

岡本総務課長

よろしいでしょうか。次に、8ページの重点施策3安全で安心な学校環境づくりに移らせていただきます。資料の5ページも合わせてご覧ください。

取組の方向性として、28年度と同様、学校・地域防災組織等が連携した防災訓練等の実施に向け、取り組みます。

具体的な取り組み内容としては、学校防災対策推進事業のほか、防災教育の充実、各種訓練等の充実、関係部局等との連携の4つの事業を推進して参ります。

学校防災対策推進事業では、教育委員会主催の研修会を開催し、災害時に児童生徒及び教職員の安全を確保するとともに、平常時から万全の対応ができるよう、各学校・地域の実態に応じた防災対策・教育を推進します。

防災教育の充実では、三重県教育委員会が作成した防災ノート等を活用しながら、学校・家庭が連携した防災教育、また、児童・生徒が直接校区内を歩いて、危険箇所等を調べ、防災マップを作成することで、防災意識を高めます。などとしておりまして、めざす姿につきましては、防災ノートの活用や地域防災組織との防災訓練等を通じて、家庭や地域と連携して防災教育に取り組むことができる学校であり、指標につきましては、地域防災組織等と連携した防災訓練等を全小中学校で実施することを目指します。以上が、重点施策3安全で安心な学校環境づくりの説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしく申し上げます。

北野委員

安全で安心な学校環境づくりということで、通学時に地域で見守りなど行っている所もあるのですが、連れ去りなどもあり得るので、熊野市として今後どう取り組んで行かれるのかご検討をお願いします。

楠学校教育課長

登下校の安全、安心はとても大事なことです。各学校には、スクールガード的な組織がありまして、PTAや地域の方々を含めた登校時の見守り等を行っています。これは、毎日ではないですが定期的に行っていると考えております。

登下校については、子どもがどうしても一人になってしまうケースがありますので、スクールガード的な部分や地域の方の見守りも必須だと思います。これからも進めて行きたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

岡本総務課長 よろしいでしょうか。

北野委員 はい、ありがとうございます。

河上市長 今の話で、ちょっと教えていただきたいのですが、登校の時には、よく見守りの方を見かけるのですが、下校時はどうされているのですか。

楠学校教育課長 下校時になると難しいところがあります。

河上市長 どちらかと言えば、先ほどの話では、下校時のことだと思のですが。しっかり子どもたちに教育をして行くしかないですね。

今、低学年は下校が早いじゃないですか。私が、たまたま見かけた時に、子どもたちが集団で帰っていましたが、あれは、集団で帰らせるようにしているのですか。

楠学校教育課長 はい、そうです。あとは、教員が途中まで送って行くこともしています。

河上市長 あと、子どもたちの防災に関する知識のレベルがどのくらいあるかわからないです。学校にいる時には、避難訓練などでできたとしても、登下校時に自ら判断して動けるかどうか、休みの時に自分たちで遊んでいて対応できるかどうか。そこまで考えると一人一人の防災に関する知識や実践する力がどこまであるかということも、今すぐにではないにしても、今後のレベルアップしていく課題の一つにしなければならぬと思います。

楠学校教育課長 市長が言われたことから、防災マップ作りについては重要だと思います。子どもたちが直接歩いて、普段気にしていないブロック塀が災害時には危険だとか、SOSの看板がある家はどこにあるかとかこの辺りは標高何メートルあるのかなど、そういった部分で、防災マップ作りは、子どもたちが直接実感することができます。ですので、今年度も防災マップ作りについて取り組んで行きたいと考えております。

倉本教育長 学校における防災訓練は、年3回程度、また多い所では5回行っております。火事や地震であることを想定した上で、教員の指示によって行います。少しずつ予告なしの避難訓練等を行う機会が増えてきました。今年も各学校に依頼しています。また、先ほど市長が言われた下校時や休みの日の防災対策について、これからの大きな課題として捉えています。地域を知ることや災害時の対応をできるように取り組んで行かなければならないと考えております。

河上市長 自分で自分を助けられる能力をいかに収められるかということを経験がなくても、少しずつ取り組んで行ってほしいと思います。

岡本総務課長 ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。よろしければ次に、9ページの重点施策4子どもの読書活動の推進に移ら

させていただきます。資料の 6 ページから 7 ページも合わせてご覧ください。

取組の方向性として、子どもの読書活動は言葉を学び、豊かな感性の育成や表現力・創造力の向上、さらには健全育成にとって欠くことのできないものであることから、多くの子どもが様々な機会において本に接し、自ら進んで読書の楽しみを味わうことのできる環境の整備を行います。

具体的な取り組み内容としては、子どもの心づくり事業（読み聞かせ）、学校との連携、ボランティア活動活性化事業、読書感想文コンクール、蔵書整備事業となっており、学校との連携では、小学校への読書ボランティアの派遣を充実するなど、「読書に親しむ」環境整備をさらに図ってまいります。めざす姿につきましては、28 年度と同様、子どもが未来への夢や目標をいだいて、自らを高めるために、自ら進んで読書に親しんでいる。指標につきましては、小中学生が、1 か月に 1 冊も本を読まなかった割合、小学生 2%以下、中学生 11%以下と設定させていただきました。この数字は、国が平成 25 年度に策定した「子ども読書推進計画」において、平成 30 年度の目標値から、それぞれ 1%を差し引いた数字となっております。以上が、重点施策 4 子どもの読書活動の推進の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。

河上市長

この指標を変えたのは良いのですが、この指標はどうやって調べるのですか。

杉本社会教育課長

1 か月に 1 冊も本を読まなかった割合で、例えば 12 月を 1 か月に決めて、各小・中学校にアンケートを取ることを考えております。

河上市長

毎月するのですか。

倉本教育長

いえ、月を決めて実施する予定です。

河上市長

それは確実ですね。

岡本総務課長

他にございませんでしょうか。

河上市長

市では、健康増進ポイントというものがあります。それと同じように子どもたちが、たくさん本を読んだら、鉛筆 1 本贈るようなことはやってはいけないのですか。指標に書いていることは、問題ないのですが、これで一気に進むとは思えないのですが。これは単なる提案で、他にやり方はいろいろあると思うんですけど。

杉本社会教育課長

図書館では、読書ノートを子どもたちに配布をして、1 か月どれだけ読んだかということに競って、表彰する取組をしています。ただ、本が好きな特定の子どものみばかりなので、普及は進んでおりません。

河上市長

今回、各小・中学校で 1 年の内の 1 か月に調査をするのであれば、

まさに、そのような取組を普及させる良いチャンスだと思います。子どもたちを調査するという事で、本を読んでいる、読んでいないというデータが分かりますよね。今までは、図書館から情報を引っ張って来て、子どもたちがどれだけ読んでいるか調べていましたが、具体的な子どもたちの情報が入ってなかったですよね。そこが、私は良いか悪いか分からないので議論していただくことを前提に考えていただけたらと思います。やってくださいということではないので、お任せします。

岡本総務課長

次に、10ページの重点施策5 生涯学習環境の整備に移ります。資料の7ページから8ページも合わせてご覧ください。取組の方向性として、28年度と同様、生涯学習推進の拠点となる市民会館及び文化交流センター・図書館機能の充実を図り、多くの市民が生涯学習に触れることのできる機会を提供するとともに、生涯学習講座修了者等の熊野文化協会への加入促進など講座等を通じて得た知識や技術を地域に還元することで生涯学習環境の充実を図ります。

具体的な取り組み内容としましては、各種生涯学習講座、市民文化祭の開催、まちの人材活用事業、読書推進事業の4つの事業を行うこととしております。

生涯学習講座では幅広くニーズに即した講座を行うため、参加者や講師等の意見を積極的に聴取するとともに、効果的な情報発信についても注力いたします。めざす姿につきましては、市民一人ひとりが生涯にわたって学習や文化芸術等に親しみ、自己実現を果たしながら、生きがいを感じ、心豊かに生活している姿で、指標につきましては、熊野市立図書館の企画事業、各種生涯学習事業の評価が4.5としております。以上が、重点施策5 生涯学習環境の整備の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

大久保委員

文化協会の会員の数は、増えているのか減っているのか、横ばいなのか教えていただきたいのですが。

杉本社会教育課長

確実な数字は持っていないのですが、極端に増えたり減ったりしていないと思いますので、横ばい状態だと考えます。後ほど、会員の数字を確認いたします。

倉本教育長

生涯学習講座の参加については、いつも参加していただく方は、年間を通していろいろな講座に参加していただいておりますが、広がりという意味で非常に課題があります。例えば、「温故知新」という企画展では、他の地域の方も見に来てくれました。そういった意味で、バリエーションの広がりの周知も必要で、また、来られない方への配慮もし、場合によっては交通の手段や開催場所も決め

て、そういうところまで踏み込まないと課題の解決に向かないのではないかと思います。なかなか山間部の子どもたちが市立図書館を利用できないので、今年は、社会教育課の事業として、市のバスを使用して、

文化交流センターの図書館まで出向き、司書からいろいろな説明をしていただきました。これからもそのような取組を行ってまいりたいと思います。

河上市長

今の話で、参考までに。健康づくり事業で市民の参加度調査をいくつかの市町村でやられているのですが、その結果から言うと、だいたい3割の方は健康づくりに関心があって、その内の1割の方は実際に行政が行ういろんな健康づくりのイベントに出ています。それで、その人たちの顔ぶれは変わらない。何が問題かと言うと、教育長が言われたことと同じように、7割の方は関心を持っていない。いかにこういう人たちに関心をもってもらおうかということ。もう一つは、関心はあるけど、参加はしていない2割の方です。

市では健康ポイントで健康の増進を図っていますが、文化や教育関係でそういうやり方が良いかどうか、これは、ほかのどの分野で見ても同じ感じだなという気がします。なかなか難しいのですが、これは永遠の行政の課題です。

岡本総務課長

他に何かございませんでしょうか。なければ最後になりますが、11ページの重点施策6生涯スポーツの普及と促進ですが、資料の8ページから9ページも合わせてご覧ください。

取組の方向性として、関係団体と連携して生涯スポーツの普及と促進を図り、取組の一環として、平成30年度の「全国高校総体」・平成33年度の「三重とこわか国体」に向けて、開催機運を高めつつ、多くの市民の協力を得て、開催準備を進めます。

具体的な取り組み内容としまして、市民健康スポーツ祭の開催、スポーツ推進委員協議会活動の活性化・総合型地域スポーツクラブの育成事業、スポーツ少年団育成事業、高校総体・国体開催体制の構築事業の4事業となっており、スポーツ推進委員協議会活動の活性化を追加させていただいております。めざす姿につきまして、28年度同様、市内で各種競技が活発に開催され、多くの市民が生涯スポーツを楽しんでいます。指標につきましても、まちづくりアンケートにおいて、スポーツ施設や公民館等で週に1回以上スポーツを楽しんでいる割合が10%以上と設定いたしました。以上が、重点施策6生涯スポーツの普及と促進の説明でございます。ご質問やご意見等ございましたらよろしくお願ひします。

河上市長

中身の話ではないのですが、参考情報として、今金山に防災公園

を整備しております。防災公園の中に、もう一つ野球場と雨天練習場を整備する計画があります。野球場も雨天練習場も今年度中に完成する予定です。ですから、来年のインターハイの男女のソフトボール、特に男子のソフトボールは女子より広がるので、スタジアムの横の健康増進グラウンドは、女子のソフトボールだと2面取れるのですが、場合によっては、片面しか取れないかも知れません。ということで、そういう整備が進んで、受入れ態勢が強化されつつあります。

岡本総務課長
大久保委員

他にご意見、ご質問等ございませんか。

生涯スポーツで、野球やソフトボールみたいにきちっとしたスポーツの数は少ないですが、朝とか夜とか自分で歩いている人がかなりたくさん見受けられます。スポーツではないですが、それも一つの健康増進のために十分役立っていると思います。

河上市長
大西市長公室長
河上市長
大西市長公室長
岡本総務課長

まちづくりアンケートは、市長公室でやっていますよね。

はい、そうです。

アンケートの中には、ウォーキングは入っていますか。

ウォーキングは入ってないです。

他にごございませんでしょうか。

それでは、平成29年度の主な重点施策1の「学力向上の推進」から6の「生涯スポーツの普及と促進」までの全体をとおして何かご意見等ありましたらよろしく願いいたします。

杉本社会教育課長

先ほどの、熊野市文化協会の会員人数ですが、平成27年5月現在で、974人。平成28年5月現在で、909人。平成29年5月現在で、846人ということで、減少しております。

岡本総務課長

それでは、事項書2の(3)その他でございますが、委員の皆様から、何かございましたら、よろしく願い致します。

教育委員全員

無し。

岡本総務課長

事務局からですが、次回開催予定は、10月を予定しております。平成29年度重点施策の進捗状況及び平成30年度の方針について、などとなる予定でございます。

それでは、本日の事項についてすべて終了となりました。これをもちまして平成29年度第1回熊野市総合教育会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。